

令和元年度 大阪市立北稜中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

1 全国学力・学習状況調査

学年		生徒数 (人)	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			国語	数学	英語	国語	数学	英語
3 年	学校	99	77	71	67	2.4	5.6	3.1
	大阪市	—	70	57	54	3.5	8.8	6.7
4月18日	全国	—	72.8	59.8	56.0	2.6	7.3	6.0

2 中学生チャレンジテスト

学年		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会	数学	理科	英語	国語	社会	数学	理科	英語
3 年	学校	94	65.3	59.4	67.5	58.9	60.6	3.7	3.5	9.6	3.6	2.6
	大阪市	—	56.6	45.9	52.5	47.4	46.2	6.0	6.0	13.2	5.9	5.4
6月19日	大阪府	—	57.1	46.2	53.5	47.7	47.0	6.2	6.2	13.2	6.2	5.2

調査結果から

全国学力・学習状況調査結果

(1) 国語

全国と比較して、平均正答率が 4.2 ポイント高く、平均無回答率は 0.2 ポイント低かった。しかしながら、全国と比較して、「書くこと」の領域において、全国平均よりも 0.3 ポイント低かった。文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつことや、書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討することにおいて、課題が見られた。

(2) 数学

全国と比較して、平均正答率が 11.2 ポイント高く、平均無回答率は 1.7 ポイント低かった。また、すべての領域において、全国平均よりもじゅうぶんに高い結果であった。ただし、詳細に分析した正答数の度数分布によると、全 16 問中で正答数 15 問を中心とする大きなピーク（極大）と、正答数 6 問を中心とする小さなピーク（極大）を持つダブルマキシマム分布（いわゆる「フタコブラクダ状態」）となっている。正答数の低いグループに対しての手立てが必要である。

(3) 英語

全国と比較して、平均正答率が 11.0 ポイント高く、平均無回答率は 2.9 ポイント低かった。また、すべての領域において、全国平均よりもじゅうぶんに高い結果であった。ただし、詳細に分析した正答数の度数分布によると、全 21 問中で正答数 16 問を中心とする大きなピーク（極大）と、正答数 10 問を中心とする小さなピーク（極大）を持つダブルマキシマム分布（いわゆる「フタコブラクダ状態」）となっている。正答数の低いグループに対しての手立てが必要である。

(4) 生徒質問紙

「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」という質問に肯定的に答えた生徒が 42.5% であり、全国平均の 50.4% に比べて 7.9 ポイント低かった。一方、「学校の授業時間以外に、普段 1 日あたりどれぐらいの時間、勉強していますか」という質問に対して「2 時間以上」と答えた生徒が 47.5% であり、全国平均の 35.5% にくらべて 12.0 ポイント高かった。以上の結果から、本校では学習塾に通っている生徒が多く平均的な勉強時間は短くないものの、自ら計画して主体的に勉強に取り組むことに課題が見られる。

また、「読書は好きですか」の質問に肯定的に答えた生徒が 56.6% であり、大阪市平均の 58.7% よりも低く、全国平均の 68.0% よりも大幅に低い結果となった。すべての教科において読書指導を進め、言語活動のより一層の充実を図ることが必要である。

調査結果から

中学生チャレンジテスト（3年生）

(1) 成果

大阪府の平均と比べて、国語で 8.2 ポイント、社会で 13.2 ポイント、数学で 14.0 ポイント、理科で 11.2 ポイント、英語で 13.6 ポイント高く、いずれの教科においても大阪市平均、大阪府平均をじゅうぶんに上回る結果であった。

(2) 課題

問題別分布によると、5教科ともに共通して、大阪市・大阪府全体の傾向と同じく、「記述式」の問題において正答率が低い。各教科において記述式問題への苦手意識を払拭するため、「書く」ことに関する練習を進めたい。

また、得点分布によると、いずれの教科においても 5 点から 24 点近傍に分布が見られるため、理解が不十分な生徒に対するより一層手厚い学習支援が必要である。

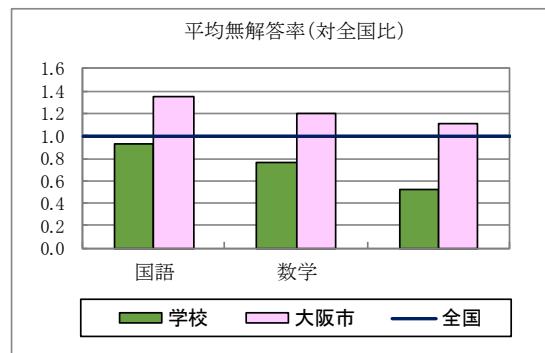
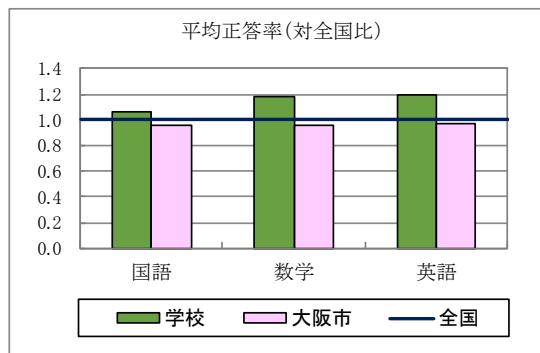
令和元年度 大阪市立北稜中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

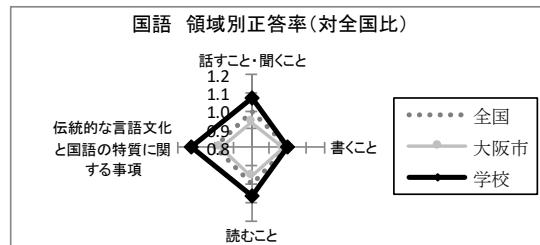
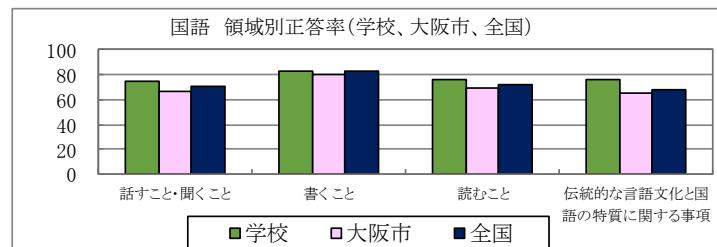
	平均正答率(%)		
	国語	数学	英語
学校	77	71	67
大阪市	70	57	54
全国	72.8	59.8	56.0

平均無解答率(%)		
国語	数学	英語
2.4	5.6	3.1
3.5	8.8	6.7
2.6	7.3	6.0



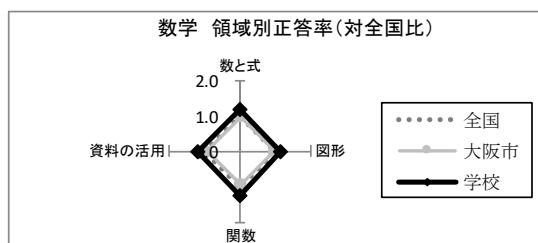
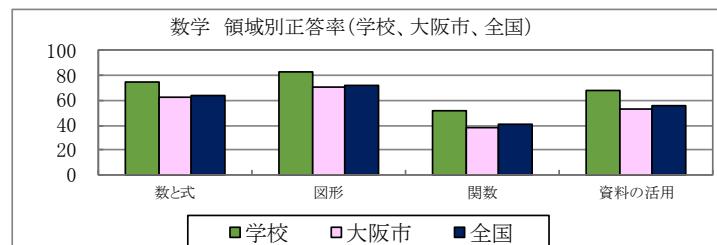
【 国 語 】

学習指導要領の領域等	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
話すこと・聞くこと	3	75.4	66.0	70.2
書くこと	2	82.3	80.4	82.6
読むこと	3	76.8	68.9	72.2
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	2	76.3	65.6	67.7



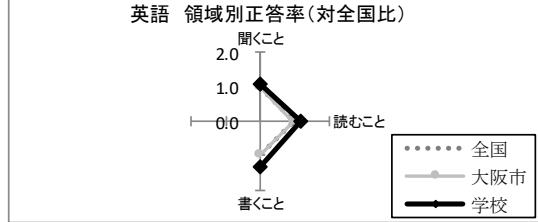
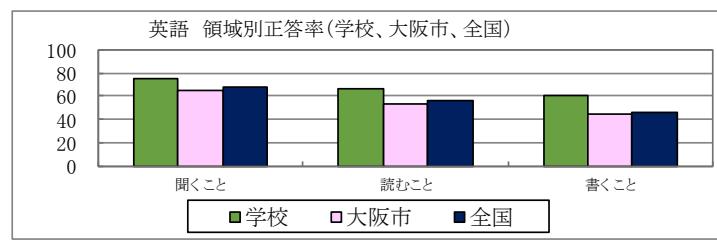
【 数 学 】

学習指導要領の領域等	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
数と式	5	75.2	61.9	63.8
図形	4	83.1	70.6	72.4
関数	3	51.5	37.8	40.8
資料の活用	4	67.4	53.3	56.3



【 英 語 】

学習指導要領の領域等	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
聞くこと	7	74.6	65.5	67.9
読むこと	6	66.8	53.8	55.6
書くこと	8	61.2	45.1	45.8



令和元年度 大阪市立北稜中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

質問番号

質問事項

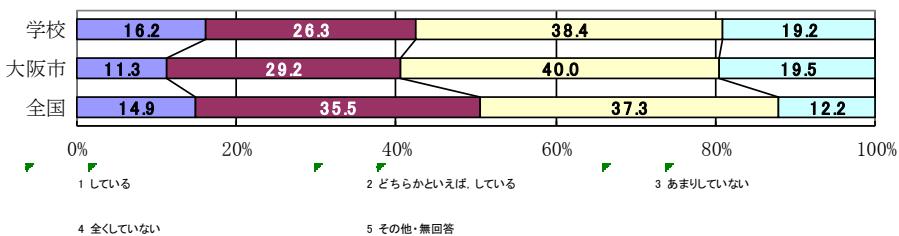
13

学校の規則を守っていますか



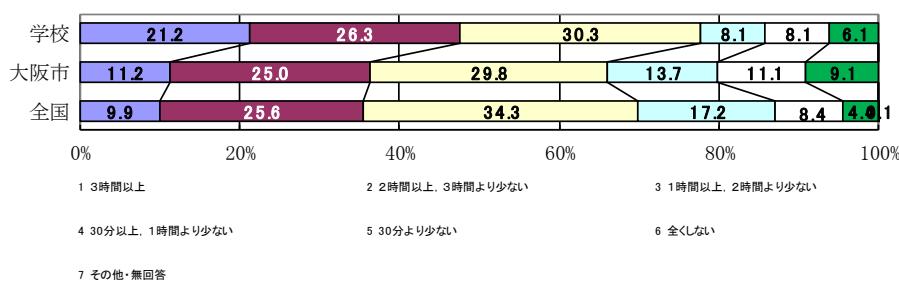
17

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか



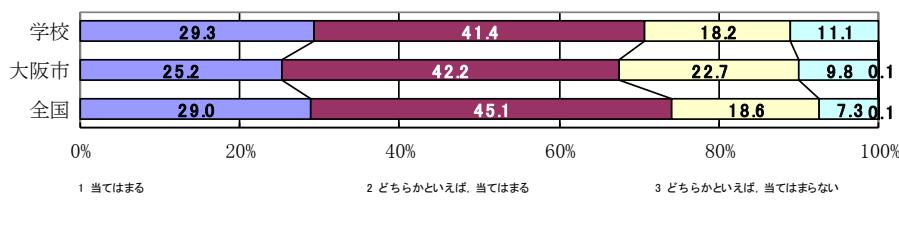
18

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む)



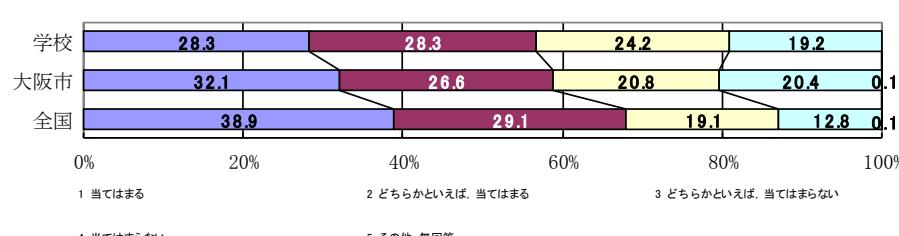
5

自分には、よいところがあると思っていますか



21

読書は好きですか



**令和元年度 大阪市立北稜中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

学校質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

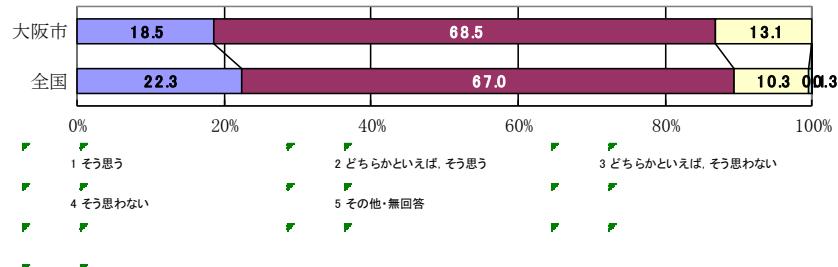
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか

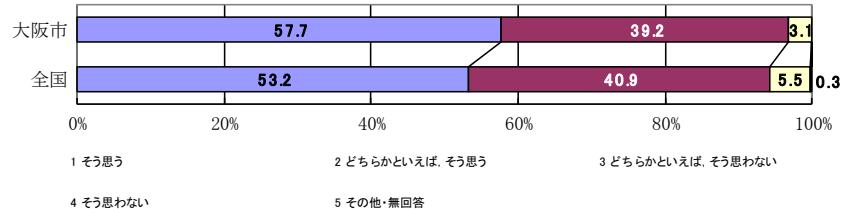
学校 「そう思う」を選択



9

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

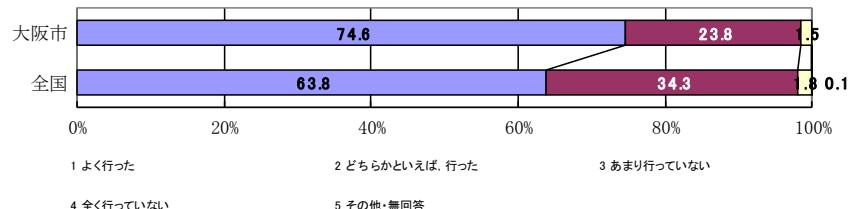
学校 「そう思う」を選択



13

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか

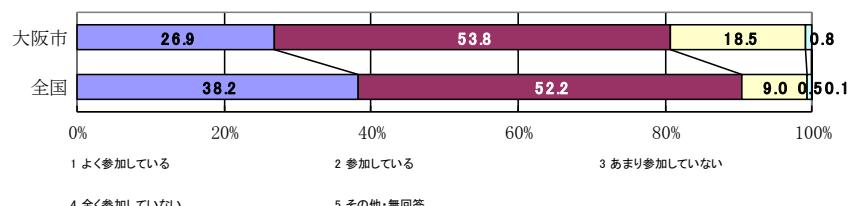
学校 「よく行った」を選択



70

保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか

学校 「よく参加している」を選択



22

部活動のあり方について、保護者や地域と連携して見直しを進めていますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択

